

令和5年度 (地独)京都市産業技術研究所 評価技術講習会

— 見て学ぶ材料分析の基礎 —

第3回 素材・粉体特性評価 (比表面積測定)

主催 (地独)京都市産業技術研究所
共催 京都ものづくり協力会

(地独)京都市産業技術研究所(以下、「産技研」という。)では、地域の特色を生かした産学官連携拠点である京都バイオ計測センターと連携して、地域企業の技術者や大学研究者等が材料分析の基礎を学べる講習会を下記のとおり開催いたします。

材料分析は、製品開発、品質管理、不具合改善など、ものづくりの様々な場面の課題解決に活用される評価技術です。本講習会では、測定法の基礎、測定事例などの講義とデモ測定による実習を通じて、材料分析について分かりやすく解説します。

第3回は、素材・粉体特性評価シリーズの「比表面積測定」を行います。

本講習会の受講を機に、弊所が保有する機器と技術を積極的にご活用いただくよう、お願いいたします。皆様の御参加をお待ちしております。

記

日時 令和5年8月31日(木) 14:00～16:00
【講義】14:00～14:45 【実習】15:00～16:00
※講義のみハイブリッド形式(Zoom)で行います。

会場 (地独)京都市産業技術研究所
(京都市下京区中堂寺栗田町91 京都リサーチパーク9号館南棟)
【講義】5階講義室B 及び Web形式(Zoom)
【実習】2階 化学・物理系機器分析室

内容 「評価技術講習会 ー見て学ぶ材料分析の基礎ー」
第3回:素材・粉体特性評価(比表面積測定)
【講義】比表面積測定の基礎
【実習】比表面積測定の試料準備、測定データの解析など
講師:(地独)京都市産業技術研究所
材料・素材技術グループ 荒川 裕也

<比表面積測定装置>

比表面積測定装置は、粉体粒子の表面にガス分子を吸着させ、その吸着量から試料の比表面積(重量当たりの表面積)や多孔体の細孔径分布を測定することができます。

粒度分布測定や顕微鏡観察と組み合わせることで、粉体表面の凹凸状態の数値化や、活性炭やゼオライトなどの多孔物質の吸着性能予測や品質管理に用いられています。医薬品分野でも、分離カラムや固形薬剤担体に用いられる多孔質シリカの物性評価等への応用事例があります。



日本ベル製 BELSORP-mini II

- 対 象**
- ・企業技術者、大学の研究者など機器を用いた材料分析法を基礎から学びたい方
 - ・バイオ分野などで、材料分析に興味、関心のある方
 - ・分析は外部委託しているが、測定原理から学びたい方
 - ・測定経験はあるが、試料前処理及び測定などを再確認したい方 など

- 定 員**
- ・対面形式（講義及び実習）：6名
 - ・Web形式（講義のみ）：50名程度
- ※対面形式は1社1名でお願いします。
※応募多数の場合は抽選を行います。
令和5年8月17日(木)までに、登録メールアドレスに結果をお知らせします。

参加費 無料

申込方法 (地独)京都市産業技術研究所の参加申込フォームからお申し込みください。

参加申込フォーム：<http://tc-kyoto.or.jp/contact/apply/post-205.html>

募集期間 令和5年7月18日(火)～令和5年8月10日(木)

主 催 (地独)京都市産業技術研究所
共 催 京都ものづくり協力会



参加申込フォーム

問合せ先 (地独)京都市産業技術研究所 担当：南、島村、岡野

TEL：075-326-6100 (代)、E-mail：kikiseminar (ato) tc-kyoto.or.jp

※メールをお送りいただく際は、(ato) を@に変えてください。

<産技研ホームページ：<http://tc-kyoto.or.jp/info/seminar/>>

開催にあたっての注意事項

- ・動画視聴、インターネット環境をご確認ください。セキュリティの設定や動作環境によってはご視聴いただけない場合がございます。また、スピーカーなどのパソコン等の設定方法につきましては、システム、OSごとに異なりますので、事前にご確認をお願いします。
- ・申し込みされた方に、連絡事項、視聴用の招待URL等をメールにてご連絡申し上げます。迷惑メール対策やドメイン指定受信等を設定している方は、連絡事項、招待メール等が受信されまよう、tc-kyoto.or.jpの登録をお願いいたします。講演会開催日時に、視聴サイトにログインしていただき、ご視聴ください。《注意》申し込みされた方の確認のため、Zoom接続時には必ず申込み時の接続時の名前をご使用ください。また、本セミナーは、ウェビナー機能を利用しませんので、接続時の名前がZoom上に表示されます。あらかじめご了承ください。
- ・本講演会で使用される資料や配信動画は著作物であり、録音・録画・複写・転載・配布・上映・販売等を禁止します。

